

企業からふるさと納税として寄附をいただきました

次の企業の皆様から寄附をいただきました。

今後の本市の更なる発展のため大切に活用させていただきます。

【株式会社那珂舗装】

 株式会社 那珂舗装

【株式会社Hajimari】

 Hajimari

【株式会社シーマコンサルタント】

 株式会社 シーマコンサルタント

【株式会社佐電工】

 株式会社 佐電工

【筑紫ガス株式会社】



【西日本鉄道株式会社】

まちに、夢を描こう。

 Nishitetsu Group

梅ちぎり体験、梅の実収穫祭を開催

昨年度も好評だった一般向け梅ちぎり体験を、5月19日(火)に大宰府政庁跡で開催しました。今年は、市内から親子など12組19名が参加し、梅の実の収穫を楽しむ姿が見られました。収穫後には梅ジュースをふるまい、さわやかなひとときを過ごしていただきました。

また、翌日、5月20日(水)には福岡農業高校食品科学科の3年生と事業者による梅の実収穫祭を開催しました。この日収穫した260kgの梅の実と同高校へ提供され、今後の「梅」プロジェクトの製品開発などに活用されます。



梅ちぎり体験の参加者



福岡農業高校食品科学科の3年生と事業者の皆さん



梅を収穫する様子

歴史が結ぶ新たな交流 明日香村と連携協定

本市と奈良県明日香村は5月27日(水)、まちづくりや防災分野で連携する包括連携協定と災害時相互応援に関する覚書を締結しました。飛鳥時代、日本の政治・文化の中心地であった明日香村と、日本の外交と防衛の最前線であった太宰府市が、歴史・文化を生かした交流や防災面での協力を進めます。高原市長は「日本黎明期の息吹を未来につなげる第一歩となる。互いの魅力を高めあいながら、世界に誇る文化を発信していきたい。」と述べました。

今後、百済の最後の都だった韓国・扶餘郡とのつながりも視野に、友好を深めていきます。



もりかわ 森川 ゆういち 裕一 明日香村長(左)

市職員による「豪雨災害対応訓練」実施

豪雨災害が発生しやすい季節を迎えるにあたり、市民や観光客の生命財産を守るため、5月30日(土)に豪雨災害対応訓練を実施しました。

様々な想定に基づき、各班が机上または各現場に直接赴いて役割を確認しました。特に避難所の担当班は、公民館までの経路・危険箇所を把握するとともに、施設内の撮影や自治会長から施設の情報や備蓄品を確認し、避難所情報カードを作成しました。

最後には、参加者全員でトイレカーや避難所の物品、簡易トイレの見学や体験を行うなど、今年の梅雨の災害に参加職員が一丸となって備えました。



訓練の様子